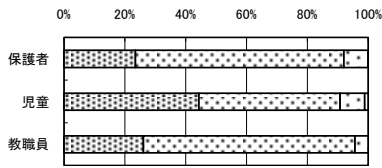


☑ 4-そう思う ☑ 3-どちらかといえば、そう思う ☑ 2-どちらかといえば、そう思わない ☐ 1-そう思わない

学校教育目標

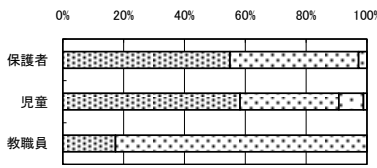
1 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



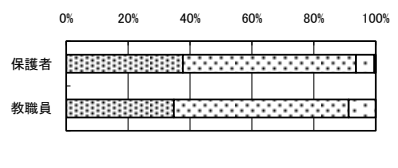
2 意欲的な学校生活

子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。



3 教師の連携協力

学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。



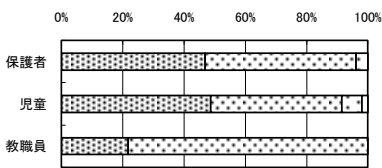
【学校から】

教育方針や教育目標などについては、90%以上の保護者・児童において理解が図られている。これは、学校便り、学級便りをはじめ、学級懇談会、学級活動等において説明が行われ、その目標達成のための取り組みを意識して行っているためと考えられる。全体的には楽しい学校生活を送っているが、児童の9%がそうでないと答えており、課題の把握とともに、課題に応じた対策を講じる必要がある。教師の連携協力については更に深めていく。

教科指導

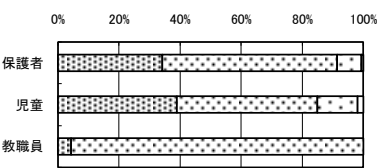
4 授業づくりの工夫

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



5 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。



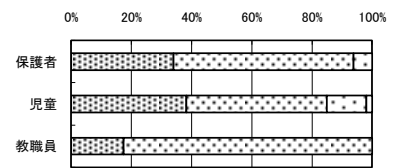
【学校から】

「授業づくりの工夫」「意欲的な学習態度」とともに教師、保護者と比べて児童の評価が低い。校内研修等をおして指導力の向上を図るとともに少人数指導を効果的に取り入れるなど個に応じた指導を図り、分ける喜びを味わわせ、意欲的に授業に取り組む態度を育てて行く。

総合的な学習の時間

6 総合的な学習の時間の充実

子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。



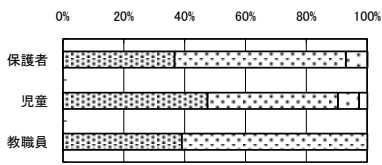
【学校から】

児童の15%が意欲的に取り組むことができていない。児童が主体的に探求活動を行うような課題設定をはじめ単元全体の学習過程を工夫していく。

道徳教育 心の教育

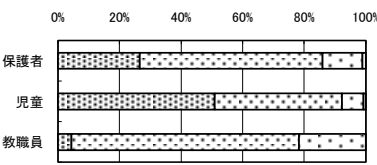
7 道徳、心の教育の充実

学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にす心の教育の充実に努めていると思いますか。



8 あいさつ、礼儀の励行

子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。



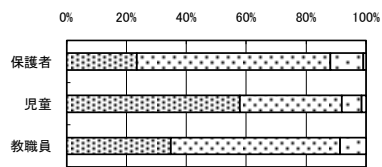
【学校から】

道徳、心の教育の充実では、児童の10%がマイナス評価である。分かっていても実践できていないことが理由であると考えられる。実践化、日常化できるような手立てを講じる。あいさつ、礼儀の励行では逆に児童のプラス評価の割合が、保護者、教職員に比べて高い。保護者の場合は家庭、地域での児童の様子からの評価であると考えられる。家庭、地域とも連携して家庭、地域内での挨拶運動を推進していく必要がある。学校においては毎月、学級ごとに取り組んでいる挨拶運動を更に充実させていく。

人権教育

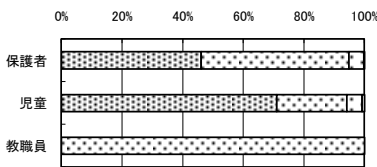
9 一人一人の生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていると思いますか。



10 友だちへの思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。



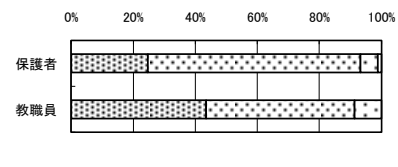
【学校から】

時間や人が足りない現実がある。組織的に対応できる体制を作り、一人一人を大切にす指導や対応ができるようにする。6%の児童が、友だちとなかよくできていないと答えており、すべての教育活動をとおして人権教育を推進し、教育相談やアンケートを効果的に利用していく。

特別支援教育

11 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



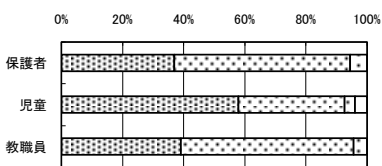
【学校から】

特別支援推進委員会を毎月開催し共通理解を図り個に応じた支援を行っている。今後も学校全体での支援体制を推進していく。

生徒指導 教育相談

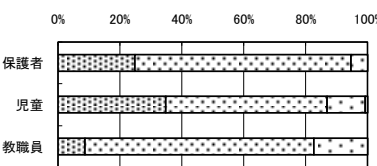
12 生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



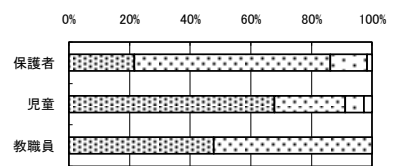
13 規範意識

子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。



14 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



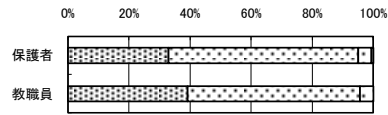
【学校から】

生徒理解については教職員もマイナス評価がある。理由を確認し対策を講じる。規範意識については、保護者、児童、教職員で意識のずれがある。学校での実態を保護者にも伝え連携して規範意識を高めていく。いじめや問題への対応については保護者の14%がマイナス評価である。早急かつ誠実な対応を行い保護者の理解を得るようにする。

## 健康教育 安全

### 15 安全と事故防止

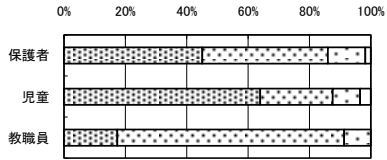
学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



【学校から】自転車のヘルメット着用、正門周辺への「飛び出し注意」の看板設置、交通安全に関する標語募集等を保護者、地域と連携して取り組んだ。ヘルメット着用については少しずつ着用率が向上している。体力向上については業間の時間を利用して持久走、縄跳び、スポーツイベントなどを実施し運動の日常化を図った。今後も積極的に安全、事故防止、体力向上に関する意識の向上を図っていく。

### 16 体力向上

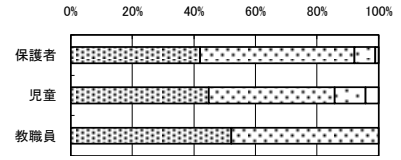
子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。



## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

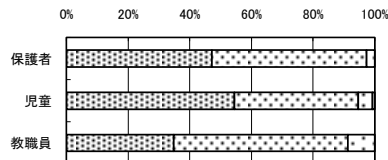


【学校から】保護者の8%、児童の14%がマイナス評価である。保護者の意見も収集して行事に生かすとともに行事の趣旨、目的等についても発信していく。

## 学校環境

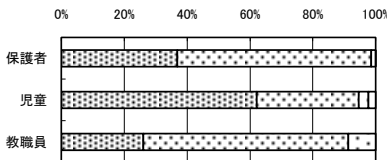
### 18 環境の整理・美化

学校では、校舎内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

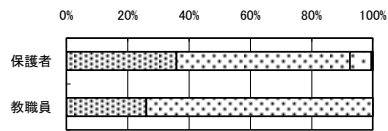


【学校から】花壇や樹木の緑化整備については、担当者を中心に児童教職員一緒に計画的に取り組んでいる。安全管理についても毎月の安全点検、その後の速やかな処理を行っている。これらの取組が保護者にも評価されているものと思う。今後も計画的に校舎内外を整備、整理し安全管理も更に徹底していく。

## 情報の公開・発信

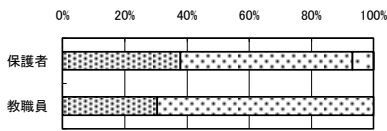
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

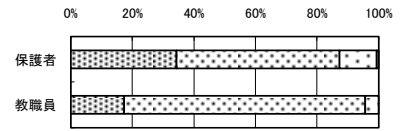


【学校から】学校、学年、学級便り、保健、体育、食育便り、PTA新聞などで情報発信をしている。今後ホームページも活用し決め細かな情報発信に努める。教育活動への参加については保護者、地域の意見を参考にしながら、開催期日等についてはできるだけ早く保護者、地域の方に伝えるようにしていく。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

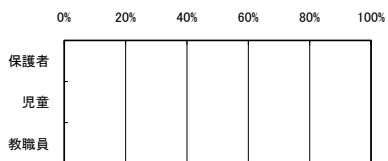


【学校から】保護者と教職員間の意識のずれを埋めるよう学校からの情報発信と保護者・地域からの情報収集につとめ、さらに連携・協力を推進していく。

## (学校独自)

### 23 0

0

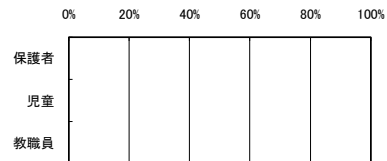


【学校から】

## (学校独自)

### 24 0

0

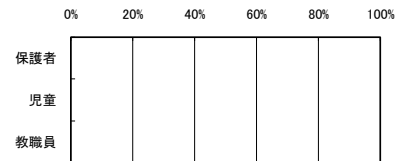


【学校から】

## (学校独自)

### 25 0

0



【学校から】

## 来年度の具体的な取り組みについて

○4、3の評価合わせて90%未満の項目を総合すると、保護者はいいさつ、いじめへの対応、一人一人を大切にしたい対応、保護者との連携、すすんで外遊びやスポーツに課題を感じている。児童は、授業、総合的な学習の時間、行事等へすすんで参加すること、きまりやマナーを守ること、すすんで外遊びやスポーツに課題がある。以上のようなことから次年度は次のことについて具体的に取り組む。

「豊かな心(徳育)」

○一人一人きめ細かな指導、対応に取り組み、いじめ、問題行動等、課題を把握した場合は組織的対応、早急な対応、保護者への説明、連携をこれまで以上に図っていく。

○あいさつ、規範意識の向上を家庭、地域と連携して図っていく。

「確かな学力(知育)」

○児童が意欲的、主体的に教育活動に取り組むように、校内研修の充実により教職員の指導力の向上を図るとともに、メリハリのある教育活動を展開する。

「体力づくり(体育)」

○本年度から健康教育の研究指定を受けている。次年度の発表に向けて実践を重ね、家庭とも連携して、児童が自ら健康について考え実践していく態度を身につけさせる。

## 学校関係者評価

○あいさつはよくなってきている。地域の中でも挨拶をする子どもが増えてきた。

○ヘルメット着用については、命を守るということからも重要である。家庭と連携し徹底していく必要がある。

○学校から、学校便りや保健便りをいただいているが、学校のことを知る上でとてもよい。ほかにも出しているのであればぜひ配布して欲しい。

○「友だちとなかよくしているか」という質問に6%の児童ができていないと答えているが、けんかをしながら成長していく面もある。数値にとらわれすぎず、子どもにどんな力を付けなければならないか考えていくことが大切。